

当院の新型コロナウイルス感染対策



新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除されましたが、いまだに都市部では院内感染が報じられており、病院に行くのが怖いと感じておられる方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

当院では院内感染対策を徹底し、地域の皆様に安心して受診していただける環境づくりを目指しています。

そこで、当院で実施している感染対策をご紹介します。少しでも地域の皆様の安心に繋がれば幸いです。

また、皆様を感染から守るため、ご理解・ご協力をお願いいたします。

正面玄関での手指消毒と検温

院内へ入られるすべての方へアルコールによる手指消毒と検温を実施しています。



密対策

患者様同士もできるだけ密にならないようにソーシャルディスタンスを守るようにしたり、職員との間にも透明の防護板を設置するなどの対策をしています。



アルコール消毒

不特定の方が触れる可能性のあるドアノブ、椅子や手すりなども毎日消毒を行っています。



マスク着用

スタッフ全員のマスク着用
患者様、来院者様全員のマスク着用
のお願いをしています。（症状のない方も着用していただきます。）



入場制限・面会制限

時間外はドアを閉鎖し、インターホンで対応します。入院患者様への面会については、制限をさせていただき、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めています。

定期的な室内の換気

定期的に各部署において換気を徹底しています。



面会制限について ～緩和ケア病棟スタッフの思い～

早期に感染対策が行われたことは入院患者様への感染リスクを考えると当然のことではあります。患者様の状態が悪くなってからの面会に限られてしまったことに関しては、患者様がお話できる間にご家族に会わせてあげたいという気持ちが正直強かったです。面会できない分、ご家族様が患者様の状態の変化に気持ちがついていけないのではという不安もあったため、電話で状態をお伝えしたり、状態の良い患者様はご家族と電話でお話をしてもらい、声を聞いてもらっていました。ご家族様からも「本当は会いたいけれど仕方がない。」という声が多かったです。

テレビ電話を利用できるようになってからは、患者様もご家族様も笑顔になったり、泣いたり顔が見れることでの安心感につながりました。

今後も患者様の状態の変化を考え、的確な情報収集と分析をし、ご家族様に分かりやすいようお伝えしていきたいと思っております。